

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品 最終仕入原価法による原価法によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産（リース資産を除く） 法人税法の規定に基づく定率法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金 連盟規定に基づく期末要支給額相当額を計上している。
- (4) リース取引の処理方法
「リース取引に関する会計基準」を適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、平成20年4月1日以降の契約から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理方法は、税抜き方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	100,000,000			100,000,000
小計	100,000,000			100,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	17,384,960	4,537,090		21,922,050
建物修繕積立資産	5,839,756	1,459		5,841,215
預り敷金資産	1,941,000			1,941,000
特定費用準備資金	0	17,500,000		17,500,000
小計	25,165,716	22,038,549	0	47,204,265
合計	125,165,716	22,038,549	0	147,204,265

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	100,000,000	—	(100,000,000)	—
小計	100,000,000	—	(100,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	21,922,050	—	(21,922,050)	(21,922,050)
建物修繕積立資産	5,841,215	—	(5,841,215)	—
預り敷金資産	1,941,000	—	(1,941,000)	(1,941,000)
70周年記念事業費準備資金	15,000,000	—	(15,000,000)	—
中学女子軟式野球大会開催準備資金	2,500,000	—	(2,500,000)	—
小計	47,204,265	—	(47,204,265)	(23,863,050)
合計	147,204,265	—	(129,704,265)	(23,863,050)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建築物	285,678,092	198,212,473	87,465,619
備品	1,285,000	1,178,375	106,625
リース資産	46,858,179	46,827,759	30,420
合計	9,371,280	4,976,800	4,394,480
合計	343,192,551	251,195,407	91,997,144

附属明細書

1. 基本財産および特定資産

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記において記載しているとおりにある。

2. 引当金の明細

引当金の当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	17,384,960	4,537,090	0	0	21,922,050